

序

本文庫は、徳山毛利藩第3代藩主元次侯（1667～1719）が、燕居読書の処として居館の後に建てた「棲息堂」の附属文庫に儲蔵された3万冊余の古今の和漢秘書の一部であり、本文庫に収納されたもの以外は、宮内省図書寮に収納された。本文庫は、本学のもと文理学部で中国文学を担当された上村幸次教授（本学退官後奈良大学学長に就任された）の斡旋により、毛利就孝氏の御厚意により寄贈を受けたものである。本文庫は2回に分けて本学図書館に収納された。その第1回目は、昭和39年に寄贈を受けた漢籍92冊であり、残余の8,116冊は、第2回分として昭和42年に寄贈を受けており、全部で8,208冊よりなっている。元次侯が所蔵された漢籍については、徳山市立図書館双書第12集「毛利元次公所蔵漢籍目録」にその全容が示されており、同目録には上村教授による解説が付されている。

今回、寄贈を受けてからほぼ20年ぶりによく「棲息堂文庫目録」の刊行をみるに至ったことは慶びに堪えないところである。この文庫目録によって、本文庫がこれまで以上により広く学界に利用されることを切望するとともに、文部省、大学本部関係者のご援助に深謝し、併せて多数の歴代本館職員の献身的な努力に対し衷心より感謝の意を表するものである。

昭和61年3月

山口大学附属図書館長

西 村 久